

第31回

日本観光研究学会 全国大会 学術論文集

Proceedings of JITR Annual Conference

2016年12月

タイトルをクリックして
本文へジャンプ

Adobe社が提供する
Adobe Acrobat Reader
で閲覧してください。

目次

- | | |
|--|----|
| 1. 祭礼空間に関する考察
—新旧山鉦巡行路変更について—
伊藤 節子 | 1 |
| 2. スピリチュアル・ツーリズムの動機と体験
—高野山宿坊にみる外国人観光客—
尾家 建生 | 5 |
| 3. 富士山北麓の宗教的文化資源に対するランドスケープ的アプローチ
小林 昭裕・町田 怜子 | 9 |
| 4. 水系からみた山梨県富士吉田市上吉田の御師町の特性
吉田 めぐみ・小林 昭裕・町田 怜子 | 13 |
| 5. サンティアゴ・デ・コンポステーラと巡礼路における聖性の
ブランディングの歴史の変遷に関する研究
—聖なるまなざしの演出の観点から—
花村 周寛 | 17 |
| 6. 大河ドラマ館を活用した観光振興についての—考察
—『龍馬伝』から『花燃ゆ』までの6年間を検証する—
中村 忠司 | 21 |
| 7. 「日本ワイン」表示の刷新によるワインツーリズム振興への
有効性についての—考察
—山梨県勝沼町、トスカーナ州シエナ地方を事例にして—
玉置 桃子 | 25 |
| 8. 街道・古道観光と食の地域づくり
—125年ぶりに復活した熊野・古座街道の事例分析—
近藤 政幸 | 29 |
| 9. シーフードフェスティバルによる「食材ブランド化」の課題
—播磨灘地区「かきまつり」の事例—
山川 雅行 | 33 |

10.	スペイン・バスク自治州サン・セバスチャン「美食世界一」戦略による 観光地域づくり 小畑 博正	37
11.	酒蔵を中心とする空間構造と観光への展開可能性 —岩手県を事例として— 村田 青葉・山本 清龍	41
12.	日本における「レトロ」観光の展開と空間的特色 丸山 宗志	45
13.	西成 Wall Art Nippon の実践と意義 松村 嘉久	49
14.	昭和初期の男体山ヨットクラブと中禅寺湖のヨットレース 手嶋 潤一・小島 喜美男	53
15.	APP データに基づく外国人訪問者の空間構造 杜 国慶・澁谷 和樹・野津 直樹	57
16.	大型クルーズ船が地域にもたらす影響 —広島港の事例から— フンク カロリン	61
17.	500 万人時代に向けたクルーズ・ツーリズムの現状と課題 —九州地域の事例を中心とした考察— 前嶋 了二	65
18.	観光プロモーションにおける写真活用に関する研究 柿島 あかね	69
19.	カナダ・ソルトスプリング島におけるスタジオツアーに関する研究 佐野 浩祥・水野 雅男・坂本 英之・足袋拔 豪	73
20.	来訪者の UNESCO 世界遺産ブランドの認知度 —国内外の富士登山者の比較研究— ジョーンズ トマス・山本 清龍	77
21.	2015 年までの英文誌における景観の心理的評価研究の歴史的ながれ —景観現象の理解と主体の属性の研究— 青木 陽二・ジョーンズ トマス	81
22.	雑誌「農業と経済」にみる都市と農村の交流に関わる用語の変遷 小山 環・十代田 朗・津々見 崇	85
23.	概念「「楽しみ」のための旅」と字句「観光」の遭遇 寺前 秀一	89
24.	19 世紀のナイアガラの観光地化について —旅行記から見る崇高 sublime の消費を中心に— 羽生 敦子	93

25.	観光地の真正性 (I) : ネパールのダルマシャーラ 中鉢 令兒・西田 麻衣子	97
26.	地域主導型観光における「地域主導」の実態と課題 森重 昌之・海津 ゆりえ・山本 清龍・清水 苗穂子	101
27.	富士山保全協力金への支払意志に関する順序プロビット分析 吉田 謙太郎・安 可	105
28.	中国における持続可能な農村ツーリズムの構築に向けて —海南島水蛟村における郷村観光の現状と課題— 周 陽	109
29.	統合型農村観光としてのアグリツーリズムの役割 —イタリア・トスカーナ州、サン・クイリーコ・ドルチャの事例から— 五艘 みどり	113
30.	体験型プログラム開発によるグリーンツーリズムの魅力の向上 —長野県飯田から学ぶ— 木沢 誠名	117
31.	地域課題解決研究ゼミナールの教育実践における PBL の試行 —和歌山県田辺市本宮町を対象として— 峯俊 智穂	121
32.	路面電車沿線地区の来訪者と観光施設分布の実態 —阪堺線および京福線を対象として— 岩崎 義一・原田 健司	125
33.	どぶろく特区の意義と現状課題について 西村 泰長	129
34.	観光者向け空間における商業施設の魅力特性に関する調査研究 —沖縄県那覇市国際通りの空間特性の分類を通して— 松井 祐樹・豊平 真子・直井 岳人・飯島 祥二	133
35.	ギリシャ・サントリーニ島における伝統的集落保存法「1993 年大統領令」の 特徴と観光地形成の研究 石本 東生・岡村 祐・江口 久美	137
36.	銀山温泉街の魅力と景観資源、滞留空間の分布に関する研究 肖 凡・山本 清龍	141
37.	参加者のマインドフルネスを高めるボランティアガイドの特性 鍋島 和弘・直井 岳人	145
38.	国内ロングステイ観光者の過ごし方 畠田 展行	149
39.	日光地域における観光動機と観光情報源の利用に関する研究 正木 聡	153

40.	湯治による社会的健康の増進が旅行者の行動に与える影響に関する研究 —豊富温泉の事例から— 畑原 理恵	157
41.	岩手県遠野市の産直の利用実態の把握と情報発信方法の検討 遠藤 秀平・山本 清龍・猪狩 裕海・西 大基	161
42.	日本のティーリズム推進における観光政策と 茶業政策の課題に関する研究 吉見 淳代・花村 周寛	165
43.	日本におけるテンプルステイの萌芽 —大阪における在日コリアン寺院の活動に注目して— 天野 景太・吉田 全宏	169
44.	小規模都市における地域づくり活動としてのチッタ・スロー —チッタ・スローセバストポールの取り組み— 崔 瑛・古屋 秀樹・野瀬 元子	173
45.	観光目的地における商業施設の観光的特性に関する探索的調査研究 —沖縄県那覇市国際通り周辺の事例を通して— 山城 健悟・内間 みなみ・上原 明・飯島 祥二	177
46.	「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」にみる世界遺産観光の展望 深見 聡・沈 智炫	181
47.	三重県のバリアフリー観光政策の進展 —三重県総合計画による分析— 伊藤 薫	185
48.	ARの新しいレジャー活動創造と地域活性化への影響 李 根熙・林 志垠・崔 鏞充	189
49.	谷根千の変化に対する考察 —「時代の大きな流れ」「下町・観光」「文化的基盤」— 森 直人	193
50.	ふるさと納税の観光分野における活用 —具体的な活用事例から見る意義と可能性— 金子 和浩	197
51.	近代以降における観光資源「段葛」の整備 西山 孝樹・天野 光一	201
52.	潜在国内旅行消費額の推計 —観光産出と年次有給休暇— 中村 雅行	205
53.	日本旅館におけるベトナム人材の育成と登用への検討 —外国人人材支援システムの構築を目指して— 山田 祐子	209

54.	知覚リスクを構成するリスクタイプの探求 —旅行予約サイトを対象に— 田中 祥司	213
55.	デジタル機器の利用とデジタルデトックスにむけた意識に関する研究 久保 暁子・山本 清龍	217
56.	観光地のレジリエンシー向上に向けた事業継続計画 (BCP) に関する研究 —白馬村編 Phase2 — 朝倉 はるみ	221
57.	効果的な観光マーケティング組織の運営に関する考察 —カリフォルニア州およびソノマ郡 DMO を事例として— 野瀬 元子・古屋 秀樹・崔 瑛	225
58.	DMO の境界と合意形成プロセス —観光地域づくりにおける重層的な場について— 大野 富彦	229
59.	観光まちづくりにおける需要創造型エリア・マーケティング戦略 —AMMA の観点から— 西井 和夫	233
60.	DMO が取り組むべき着地型観光の要点 —おとな旅・神戸を事例として— 高橋 一夫	237
61.	ロマンスツーリズムからみる現地の男性と女性観光客の関係 —スリランカ・ヒッカドゥワのビーチボーイと外国人女性観光客を事例に— ラナシンハ ニルマラ	241
62.	カンボジア・アンコール遺跡群の来訪者行動に関する研究 ポッ ソヴァンナ・古屋 秀樹	245
63.	宮島 (広島県) における観光客とシカ間の餌やり・ねだり行動 —行動観察および観光客アンケート調査に基づく分析— 笛吹 理絵・フンク カロリン	249
64.	日本人海外旅行の「行動意図」形成過程 —一般的意思決定に関するモデル構築に向けて— 中村 哲・西村 幸子・高井 典子	253
65.	高関与旅行者の行動への意思決定プロセス —アニメ聖地巡礼行動を事例として— 大方 優子・岩崎 達也・津村 将章	257
66.	日本における継続的な国際観光会議開催に向けた基礎研究 朝水 宗彦	261
67.	まち歩き観光の弁別性と分析基準 越智 正樹	265

68.	「まちあるき」を通じた地域への興味関心や愛着を育む アクティブラーニングの試行 秦 康範・酒井 厚・大山 勲・荒木 功平	269
69.	ファン行動の発展段階とファンツーリズム 幸田 麻里子・臺 純子・崔 錦珍	273
70.	ガイドの有無によるまち歩き観光体験の質と観光志向の差異 地本 真菜・山本 清龍	277
71.	旅の歴史的・文化的要素からみる中国人観光客の動態 鄔 雅瓊	281
72.	旅を楽しめる人は幸せか？ —旅行の享受傾向が主観的幸福感に及ぼす影響— 宮川 えりか・小口 孝司	285
73.	ショッピングモール再考 —「日本文化商品」と訪日観光者をめぐる一試論— 安江 枝里子・村上 和夫	289
74.	友人旅行者集団の購買意思決定過程における役割分担 —階層的クラスター分析による役割分担パターンの抽出— 豊田 紗綾	293
75.	アウトバウンド・プロモーションにおけるフィンランド・モデル —観光デスティネーションとして選ばれ続けるために— 中野 毅	297
76.	訪日韓国人における韓国人宿の利用実態と選択要因に関する研究 安 哉宣	301
77.	外国人観光客増加に伴うサービスのあり方に関する調査研究 —宿泊施設におけるアンケートとサービス事例を中心に— 和田 早代	305
78.	新規国際観光地における外国人対応の課題 —コミュニケーション・ニーズ調査から— 藤田 玲子・本田 量久・デルガド ロドルフォ	309
79.	宿泊施設の「ゲストブック」を用いた訪日個人客の観光行動の多様性と 観光地評価の変化に関する研究：岐阜県高山市の事例 澁谷 鎮明	313
80.	観光地「日本」と競合関係にある国についての一考察 —訪日観光客からのアンケート調査の結果より— 山下 裕明	317
81.	外国人ベジタリアンの訪日旅行意識 —台湾ベジタリアンへのアンケート調査から— 潘 盈珊・宮武 清志	321

82.	観光者の情報発信心理に関する一考察 —ヘビートラベラーに着目して— 抜井 ゆかり	325
83.	携帯電話ユーザーの位置情報を活用した旅行者動態の把握 —北陸新幹線開業効果の検討— 山本 真嗣	329
84.	日本・中国・マレーシアにおける若者の LCC に対する意向調査 I —観光活動を視点として— 千葉 里美・郭 倩	333
85.	形容詞の活用に着目した北海道観光の概念構造の差異に関する考察 —観光雑誌とインターネット上の個人投稿を対象に— 泉澤 圭亮・中鉢 令兒	337
86.	観光倫理学の展開に向けた準備的考察 —英語圏先行研究からの課題整理— 原 一樹	341
87.	観光地の真正性 (II) : ネパールのガイジャトラを視点として 西田 麻衣子・中鉢 令兒	345
88.	戦争による移動と VFR —持続可能なツーリズムの展開— 永井 孝充	349
89.	近代化産業遺産とダークツーリズム —産業社会の光と影を考える— 井出 明・鈴木 晃志郎・深見 聡・須藤 廣	353
90.	記憶の修辞法としての復興ツーリズム 鈴木 晃志郎	357
91.	東北地方太平洋側沿岸部のイメージの現状 —観光サービス商品としてのイメージ構築に向けて— 塙 泉	361
92.	被災 3 県における観光経済効果の一考察 長谷川 明彦	365
93.	津波防災教育の特徴と観光への展開可能性の検討 佐藤 太陽・山本 清龍	369
94.	観光ボランティアガイドの災害対応力から考える地域観光と防災 —静岡市を事例として— 安福 恵美子	373
95.	2016 熊本地震による九州観光への影響 (第 1 報) 横山 秀司・大江 英夫・室岡 祐司	377

96.	東日本大震災後の大学生のボランティア・ツーリズムの 持続可能性についての考察 —東北への在神戸市コーディネート組織の3事例から— 丸岡 泰	381
97.	阿蘇国立公園の震災復興手段としての草原再生と観光への展開 町田 怜子・原 智美・金子 晶 ・市川 冬柊	385
98.	被災地域の観光復興ならびに振興における発展段階 —IGR いわて銀河鉄道の事例から— 千葉 千枝子	389
99.	地域復興における観光推進策が市民レベルに及ぼす影響分析 —宮城県南三陸町を事例として— 樋口 葵	393
100.	長岡市山古志地域における住民主体の観光事業に関する研究 —宮本常一の提言と中越大震災後の復興の取組みに着目して— 清野 隆	397
101.	日本における「ユニバーサルツーリズム」概念の再検討 吉田 順一・山川 拓也・松山 千紘	401
102.	観光文学研究からエコクリティシズムへ 舛谷 鋭	405
103.	津波観光と語り —インド洋津波被災から約10年後の体験談— 齋藤 千恵	409
104.	日本におけるサイクルツーリズムの現状と可能性 —琵琶湖一周サイクリング「ビワイチ」により誘客をはかる 守山市に着眼して— 林 恒宏・小倉 哲也・今野 一彦	413
105.	島根の小学生の伊勢参宮修学旅行 有馬 誉夫	417
106.	観光教育が学生の社会人基礎力養成に与える影響 —JR 東日本「駅からハイキング」の実践事例より— 中原 浩子	421
107.	インターンシップにおけるコンピテンシーとモチベーションの関係性 —観光業におけるインターンシップでの測定と観察— 井門 隆夫	425
108.	サービス製品選択に関する消費者行動 —短期大学生の海外留学選択行動の分析— 国枝 よしみ・山脇 朱美・山田 勅之・金 志善	429

109.	地方創生を目的とした人材育成の手法に関する考察 —高山市における『観光地域づくり人材育成プログラム』の共同開発から— 田中 智麻	433
110.	米国における HAM の人材育成に関する研究 —ミシガン州立大学を事例に— 金 振暁・渡邊 浩良・具 敏靖	437
111.	学生企画の観光コースを「仮想ツアー」としてインターネット上で 発信可能にするツール「だれでもガイド!」 倉田 陽平	441
112.	観光教育実践の取り組みとその教育効果 —海外研修に焦点を当てて— 金 蘭正・松田 充史	445
113.	観光人材の分類に関する考察 福本 賢太	449
114.	留学生における観光学修学上の問題 —観光学理解に関わる語彙を中心に— 総田 はるみ	453
115.	地域人材としての観光人材育成プログラムの検討と課題 種村 聡子・敷田 麻実	457
116.	日本・中国・マレーシアにおける若者の LCC に対する意向調査Ⅱ —ビジネス利用を視点として— 郭 倩・千葉 里美	461
117.	国内におけるハラール食材の流通の考察 —フードシステムにおけるハラール認証団体の位置— 杉山 維彦	465
118.	タイ人観光客における我が国の観光情報入手の現状等に関する研究 —北海道観光情報入手状況を中心として— 河本 光弘・パクティダー ナワウィチャーポーン	469
119.	ファンツーリズムにおけるコミュニケーション —宮城県利府町での大規模コンサートを事例として— 臺 純子・幸田 麻里子・崔 錦珍	473
120.	外国人 SIT 旅行者の観光行動特性 —台湾人観光客のキャンプ場利用を例として— 宮武 清志・潘 盈珊	477
121.	長野県の高原リゾート開発地における価値持続に向けた研究 —長野県須坂市峰の原高原ペンション村のオーナー継承の特性と課題— 熊谷 圭介・古川 茂紀・加藤 広明	481

122.	ドイツ・バーデン・バーデンにおけるカジノの形成と発展 —都市におけるその機能の変遷— 木村 勇	485
123.	台湾の台北西国三十三所霊場の観光利用について 林 麗華・塩川 太郎・陳 曉靚	489
124.	農山村地域への移住者動機と移住地域の分類に関する考察 谷垣 雅之・吉田 順一	493
125.	大阪市におけるチェーンホテルの立地展開 松尾 圭悟	497

ポスターセッション (2016 年 5 月 28 日 (土) 発表)

1.	「シェアリングエコノミー」が観光の法規制デザインに与える影響の分析 渡部 友一郎	501
2.	コンベンションビューローにおける国際会議誘致の優先項目に関する研究 岩本 英和・松尾 徳朗・福島 壽一・薦田 憲久	503
3.	観光地「谷根千」のサステナビリティを消費財マーケティングの 視点で考察する 森 直人	505
4.	インフラによる観光のイノベーション (橋の博物館のとりくみ) 武市 修一	507
5.	世界遺産観光地における産業遺産の表象の変容 —富岡製糸場でのボランティアガイドの語りから— 岩田 真理子	509

第31回 日本観光研究学会全国大会 学術論文集

2016年12月

領価 3,000円

発行 日本観光研究学会

〒352-8558 埼玉県新座市北野1-2-26 立教大学観光学部内

TEL: 048-471-7387

FAX: 048-471-4538

URL: <http://jitr.jp/>